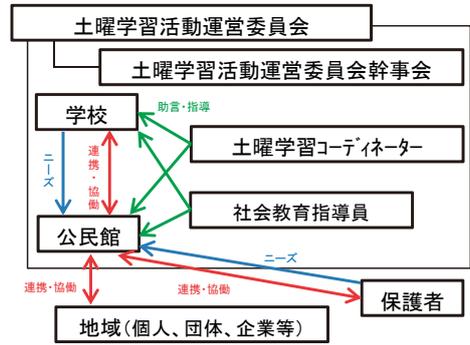


地域の人材・企業等と学校・家庭・公民館が連携！ 土曜ならではの学び

福島県いわき市	● 活動名	● 関係する学校名
	みまや土曜たいけん隊	いわき市立御厩小学校

開始年度	平成 27 年度	学級数	14 学級	児童・生徒数	297 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> スポーツ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術活動 <input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習・伝統文化 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 5 人	連携団体・企業等	常磐開発㈱ 外 15 団体・企業等
ボランティアの数	登録人数 11.7 人	属性	PTA ※登録制ではないため、H28 平均から 1 回あたり人数を記載		
参考 URL	http://www.iwaki.gr.fks.ed.jp/?page_id=113 ※御厩小学校のブログの中で紹介記事を掲載				

● 体制図



● 連絡先 いわき市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0246-22-7556

● 活動の概要・経緯

地域の教育力を高めながら、子供たちの成長を支えるより豊かな教育環境を提供するため、地域の人材・企業等の協力の下、学校・家庭・地域と公民館が連携し、子供たちに土曜日ならではの多様な学びの機会を設けることで、学び意欲や実社会・実生活で役立つ力を培う取組となっている。

現在、市内 18 小学校の児童を対象に「土曜学習」を実施しているが、このうち、御厩小学校は、平成 27 年度に「土曜学習」をモデル実施化した当時から実施校として「土曜学習」に取り組んでおり、その活動には、毎回、多くの地元企業等や学校・保護者が関わっている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

「土曜学習」では、一部に企業の CSR 活動をプログラムとして活用している（平成 28 年度実績：110 講座中 30 講座）が、特に、御厩小学校の「土曜学習」では、年 10 回のプログラムのうち 3 回が地元企業の協力により実施され、それぞれ川の環境改善と水生生物のかかわり、実演を通じた科学体験、地層や液状化のしくみなど、体験的かつ教科に即した発展的な内容となった。

また、御厩小学校出身者がプログラム講師を務めるなど、地域の大人から子供へ郷土に対する愛着心を伝えるきっかけにもなっている。

【実施にあたっての工夫】

毎回 100 人前後の参加児童がある中、プログラムを円滑かつ効果的に実施するには、大人の声かけや見守りが有効であることから、「土曜学習」の年間参加者の募集に合わせて保護者ボランティアを募り、毎回 10 人程度の協力を得ている。また学校からも教員の協力を得ることで、非常にスムーズな運営が可能となっている。

このほか、「土曜学習」の様子を御厩小学校のブログに掲載するなど、学校からも保護者・地域に対して「土曜学習」の意義や効果を発信することができている。

● 事業を実施しての効果・成果

年間 10 回の多様なプログラムを通じて、子供たちの新たな興味・関心を引き出すとともに、学習意欲の向上や社会的課題への意識を高め、あるいは郷土に対する愛着心を醸成することができた。また、地元の個人、団体、企業が各回魅力的なプログラムとなるよう工夫を凝らしており、さらに次年度は発展的な内容や視点を変えたプログラムとするなど、地域としての教育力の向上と「地域ぐるみで子供を育てる」という意識の醸成にもつながっている。さらに、毎回、多くの保護者ボランティアや教員が当日のプログラム運営に協力し、学校・家庭・地域と公民館の連携・協働による子供の豊かな教育環境が形成されている。

● その他

- 第 2 回：常磐開発㈱「川と私たちの生活」
- 第 4 回：ミサワホーム㈱「南極について学ぼう」
- 第 4 回(1～3 年生)：㈱プランニング開「クラウンパフォーマンス」
- 第 5 回：常磐共同ガス㈱「サイエンスショー」
- 第 8 回：地質基礎工業㈱「大地の作り」



手作りする過装置実験で水がきれいになるしくみを実感



いわきゆかりのブログが歌やピアノ、ヴァイオリンで音楽の魅力を伝授

ポイント

地元企業の CSR 活動を活用し、体験的で発展的な学習を取り入れているところが素晴らしいですね。